ブレインストーミング

■特性

◇制約が少ない討議法であるため、さまざまな場面での活用ができる。
◇これまでの先入観や常識を覆すような斬新なアイデアや意見が期待できる。

■準備するもの

メモ・記録用紙（人数分）　サインペン（黒・人数分）　模造紙・ホワイトボード（グループ数分）

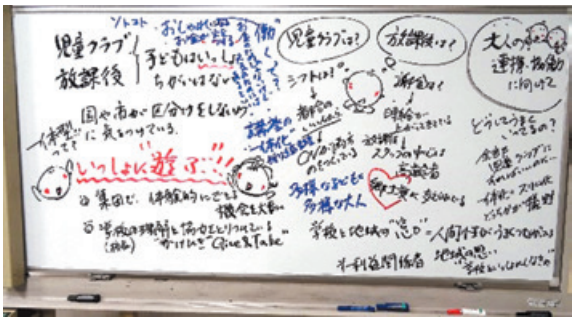
■進め方

1　メモや記録用紙を人数分用意し、テーブルの上に置く。
　（グループに模造紙やホワイトボードを用意してもよい）
2　４～８人のグループをつくって、車座になる。
3　テーマについて、思ったことや考えたことを自由に語り合う。
※発言の偏りや停滞がないように、グループ内での進行役がいることが望ましい。
※大切だと思うことは、メモをとりながら進めるようにする。
※奇抜なアイデアや思いつきのような意見を大切にする。

■留意点

◇受容的で支持的な雰囲気の中で進めるために、次の点について共通理解しておく。
①出された意見について批判をしない。
②できるだけたくさんの意見を出す。
③意見は簡潔でわかりやすいものとする。
④相互の意見を尊重しあう。
⑤課題整理のために促進的な意見を出す。
◇意見の言いっぱなしにならないよう、何のためにブレインストーミングを使うのかについて簡潔に説明する。
◇話し合いで出てきた内容をホワイトボード等に記録するとよい。
◇グループの構成に特別な制約はないが、属性の異なる人が集まった方が新しいアイデアに触れることができる。

ブレインストーミングの手法は、さまざまな場面で流れに関係なく活用されます。課題解決や結論をだすことにあまり縛られないように意識することが必要です。使用法の限定を避けるため、進行例は紹介しません。プログラム２－③－❶❷を参照ください。



【ホワイトボードによる記録例】